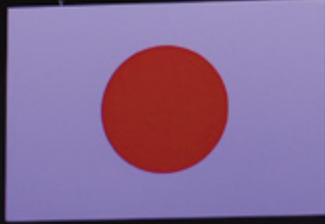


藍住町町制施行70周年記念式典



旧住吉村役場



旧藍園村役場



藍住町 第121号 2025(令和7)年5月25日 議会だより

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)
<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



3月定例会	
令和7年度一般会計・特別会計当初予算	…… P.3
常任委員会 主な質疑	…… P.4～6
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P.7～11
わたしの一言	…… P.14



藍住町役場



公民館

藍住町町制施行70周年記念式典



祝70周年 ～共に未来へ～

3月議会定例会が3月5日から24日までの20日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

高橋町長は令和7年度の所信表明を行いました。詳細については、広報あいずみ4月号に掲載しています。

一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

3月定例会

～町長提案～

令和6年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認	可	決
令和6年度藍住町一般会計補正予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算	可	決
令和6年度藍住町下水道事業会計補正予算	可	決
令和7年度藍住町一般会計予算	可	決
令和7年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)予算	可	決
令和7年度藍住町特別会計(介護保険事業)予算	可	決
令和7年度藍住町特別会計(介護サービス事業)予算	可	決
令和7年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)予算	可	決
令和7年度藍住町下水道事業会計予算	可	決
令和7年度藍住町水道事業会計予算	可	決
藍住町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正	可	決
藍住町課等設置条例等の一部改正	可	決
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可	決
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可	決
藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可	決
藍住町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	可	決
常勤特別職の給与に関する条例の一部改正	可	決
職員の給与に関する条例の一部改正	可	決
藍住町総合文化ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正	可	決
藍住町町民体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正	可	決
藍住町体育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可	決
藍住町民グラウンド使用に関する条例の一部改正	可	決
藍住町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町東中富桜づつみ公園の管理及び運営に関する条例の一部改正	可	決
企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可	決
藍住町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定	可	決
藍住町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可	決
令和7年度中学校教師用教科書等の購入契約の締結	可	決
町道の路線変更	可	決
指定管理者の指定(社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会)	可	決
指定管理者の指定(社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会)	可	決
指定管理者の指定(社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会)	可	決
徳島県市町村総合事務組合規約の変更	可	決

～議員提案～

藍住町議会委員会条例の一部改正	可	決
藍住町議会会議規則の一部改正	可	決
議員派遣の件	可	決

～報告～

- 令和7年度藍住町土地開発公社の事業計画

令和7年度一般会計当初予算

一般会計144億8千円を可決

前年度当初予算対比17.34%増

令和7年度一般会計・特別会計当初予算

(1万円未満四捨五入)

会計名		予算額	前年度当初 予算対比
一般会計		144億8千円	17.34%
特別 会計	国民健康保険事業	33億1,671万円	△2.69%
	介護保険事業	32億50万円	3.11%
	介護サービス事業	1,240万円	0.00%
	後期高齢者医療事業	5億4千円	9.31%

(1万円未満四捨五入)

会計名		収入総額	支出総額	差引額
下水道事業	収益的収支	3億8,620万円	3億7,025万円	1,595万円
	資本的収支	2億9,308万円	3億9,630万円	△1億322万円
水道事業	収益的収支	5億3,828万円	5億2,585万円	1,243万円
	資本的収支	502万円	3億1,215万円	△3億713万円

一般会計の主な事業・新事業

(1万円未満四捨五入)

- ・世代間交流施設整備事業 1億1,008万円
- ・子ども子育て支援補助事業 1億1,842万円
- ・公共事業等適正管理推進事業(舗装) 1億円
- ・災害物資集配拠点施設整備事業 1億7,000万円
- ・1人1台端末更新事業 2億3,560万円
- ・学校体育館空調整備事業(避難所強靱化) 2億1,620万円

令和6年度一般会計補正予算

(1万円未満四捨五入)

歳入歳出
それぞれ

2億円減額

予算
総額

132億2,960万円

～主な補正の内容～

総務費	◆システム標準化事業	△1,177万円
民生費	◆新たに住民税非課税等になる世帯給付金事業	△6,689万円
	◆障害者地域生活支援事業費	△1,458万円
衛生費	◆予防接種事業費	△4,287万円
	◆公共施設再生可能エネルギー設備導入事業	△2,477万円
農林水産業費	◆地籍調査事業費	△3,638万円
土木費	◆橋梁維持費	3,047万円
消防費	◆指定避難所災害用備蓄品整備費	635万円
	◆木造住宅耐震改修事業補助金	1,680万円

令和6年度 特別会計補正予算

(1万円未満四捨五入)

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	△3,553万円	33億7,918万円
介護保険事業	△1,408万円	31億4,725万円
介護サービス事業	0円	1,240万円
後期高齢者医療事業	1,727万円	5億2,880万円

下水道事業会計補正予算

(1万円未満四捨五入)

会計名	補正額	補正後の額
下水道事業	2,359万円	3億3,289万円

選挙管理委員及び同補充員の改選

令和7年4月23日の任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が3月定例会最終日に行われ、指名推選により次の方々が当選されました。
任期は令和11年4月23日までです。

〈選挙管理委員〉

齊藤 繁勝 氏 中吉 孝典 氏
川村 英夫 氏 赤澤 功司 氏

〈選挙管理委員補充員〉

木内 茂 氏 佐藤 義住 氏
沖野 勲 氏 産田 成治 氏

予算組替えを求める動議が提出されました

令和7年3月24日、新居純一議員より、「令和7年度藍住町一般会計予算（議第8号）につき予算組替えを求める動議」が提出されました。

動議提出者による提案理由の説明後、動議に対する質疑及び原案（議第8号「令和7年度藍住町一般会計予算について」）と動議に対する討論が行われました。

採決の結果、予算組替え動議は、賛成者少数のため否決され、原案は賛成者多数により可決されました。

動議とは…議員から議会に対して、委員から委員会に対してなされる提議であり、本会議においては所定の賛成者を要する。

質疑とは…議題となっている事件について、疑義をたずぬもの。

討論とは…議題となっている事件について、自己の賛否の意見を表明すること。

令和7年度藍住町一般会計予算（議第8号）については、下記の要領により速やかに組替えを行い再提出することを要求する。

提出者 藍住町議会議員 新居 純一
賛同者 藍住町議会議員 宮本 影子

1. 予算組替えを求める理由

南海トラフ地震は、今後30年以内に発生する確率が80%程度に引き上げられたことから、現時点での町予算は、ハコモノ新設工事によりも町民の暮らし・安心安全を守ることを最優先に図るべきである。

2. 予算組替えを求める内容

世代間交流施設整備事業は取り消し、次のように組替える。

①藍翠苑・女性センターの大規模改修を行うための設計業務委託料。

②本町の指定避難所である町立小学校4校体育館に空調設備を行うための設計業務委託料。

3. 歳入

上記歳出に要する経費は、町債等によって措置する。



※質疑等の詳細については、会議録を御覧ください。

会議録はこちらから→

常任委員会 主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。

各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

委員長 永浜 浩幸

付託された15議案については、委員からの質疑等はなく、全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

建設産業常任委員会

委員長 前田 晃良

令和7年度 一般会計当初予算 一 一般会計当初予算

〔中小企業支援事業〕

問 補助金248万円の内
容は何か。

答 対象者は、町内に居住
している方のうち、経営革新
支援もしくは創業者等支援、
その中で商工会が実施する、
藍住町創業塾を卒業して創業

した方もしくは県が実施する
あったかビジネス支援事業に
おいて事業計画を作成し、知
事の認定を受けた方。経営革
新もしくは創業等支援のうち
いずれか一つが該当した場合は
10万円、創業者等支援のと
くしまあったかビジネス支援
事業と藍住町創業塾の両方に
該当した場合は30万円の交付
を行っている。補助対象期間
は3年間である。

問 9500万円の減額となっ
ている理由は。

答 前年度の当初予算で路
面性調査個別施設設計
画策定業務に9000万円がつ
いており、それが終了するこ
とによる減額と考えている。

当初予算は総合的に判断して編
成しており、今後、状況に応じ
て補正対応していく。

〔道路簡易舗装費〕

問 前年度より9500万円
の増額となっている理由
は。

答 路面性調査個別施設設計
画に基づき、公共事業等
適正管理推進事業を実施するこ
ろであり、その工費が1億

円。道路簡易舗装等については、
例年、生活道路をメインとして、
要望箇所を課員で確認して行っ
ている。1億円増額しているが、
合計で9500万ということは、
その辺りの予算の配分の増減で
なっている。

問 仮にこの9500万円
4メートル幅の道路でど
れぐらいの長さの舗装ができる
のか。

答 公共事業等適正管理推進
事業の1億円というのは、
生活道路をする舗装とは考えて
いない。指定避難所や、町が指
定する緊急輸送路である1級町
道を中心に考えている。そのた
め、4メートル道路を舗装する
のは、道路簡易舗装費で考えて
いる。おおよそ小規模舗装16
00万円の予算で考えた場合、

舗装幅が4メートルで舗装の
厚み4センチであれば、約
2900平方メートル程度、
延長としては730メートル
が可能と考えている。

問 施工する箇所の決定は、
どのようになっている

答 路面調査をしており、
舗装の悪い町道が分かる
ようになっており、1級町道や、
指定避難所などの町が指定す
る緊急輸送道路を主にやってい
こうと考えている。生活道路
や団地内道路などについては、
住民からの要望に応じて建設
産業課の担当が現地確認を行
い、それで判断し発注している。

〔橋梁維持費〕

問 2760万円の減額と
なっている理由は。

答 社会資本整備総合交付
金事業の工事費の減額
が主な要因になっている。現
在は、繰越予算になるが、中
富大橋を行っている。令和7
年度については元村橋ほか2
橋となっており、橋梁として
は小さい工事になっているた
め、工事費が減額となってい
る。また、令和6年度におい
ても、社会資本整備総合交付
金事業の国の補助金が減額さ
れたために、全体的には当初
予算から下がってきている。

〔交通安全施設整備費〕

問 工事請負費400万円
の内容は何か。

答 基本的にはカーブミ
ラーの新設や取替えが
多く、その他、転落防止のた
めの柵の設置や街路灯等の取
替えもしくは新設となってい
る。また、新設要望等もたく
さんあるため、課員が現場確
認を行い、安全かどうか等を
確認、設置すべきかどうかの
判断をしている。また、カー
ブミラーについては、設置す
る箇所の地先の方の御了解も
確認しながらやっており、御
要望があっても全て設置でき
ている状況ではない。400
万円の中で交通安全施設、街
灯等も含めて行っている。



問 約330万円の減額の
理由は。

答 令和6年度にはロー
リースライダーの撤去

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

〔公園管理費〕

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

〔配水設備工事の工事請負費〕

問 内訳の5000万円は、
耐震管へ布設替えする
工事の費用。避難所に
向けて耐震管への布設替えを

費用を130万円計上してい
た。また、昨年度、需用費
の不用額が多いと指摘が
あったため、光熱水費を精
査した結果、約280万円を
減額した。増額はバーベ
キューエリアの警備業務委託
料などがあり、全体的に合計
約330万円の減額となっ
ている。

問 空き家対策事業の内容
は。

答 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

〔車輦取得費〕

問 令和6年度にも180
万円計上されていたが、
令和6年度には車輦購入を行
わなかったのか。

答 水道課の箱バンが約20
年ほど過ぎており、そ
の買換えを想定。電気自動車
などの想定もしており、令和
6年度予算180万円では足
らないため、令和7年度で同
じく180万円組ませたいだ
いた。令和6年度の予算の繰
越しも想定しながら、電気自
動車購入に向けて準備を進め
たい。

〔水道事業会計予算〕

問 令和7年度
水道事業会計予算
の内訳の5000万円は、
耐震管へ布設替えする
工事の費用。避難所に
向けて耐震管への布設替えを

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

問 令和6年度に空き家等
実態調査を行い、この
調査結果を基に令和7年度に
は、平成30年度に策定した藍
住町空家等対策計画を改定し
て、空き家に関する施策と必
要な措置を講じていきたいと
考えている。老朽危険空き家
除却支援事業の補助金につい
ては、道路に倒壊するおそれ
がある空き家は80万円。その
他の近隣に迷惑を及ぼすおそ
れのある危険な空き家は60万
円を交付するものであり、80
万円の5件分で400万円を
計上。財源は、補助金の2分
の1が国費、4分の1が県費、
4分の1が町費。

計画しており、すみよし団地
の北側からみどりが丘、みど
りでんき交差点を北へ行き、
東小学校までの約1キロロー
トル辺りを想定。

問 令和6年度にも180
万円計上されていたが、
令和6年度には車輦購入を行
わなかったのか。

答 水道課の箱バンが約20
年ほど過ぎており、そ
の買換えを想定。電気自動車
などの想定もしており、令和
6年度予算180万円では足
らないため、令和7年度で同
じく180万円組ませたいだ
いた。令和6年度の予算の繰
越しも想定しながら、電気自
動車購入に向けて準備を進め
たい。

〔第2浄水場の建設の進捗状況〕

問 第2浄水場の建設の進
捗状況は。

答 現在は詳細設計を発注
しており、資金計画を
立てなければならぬ。昨年
末、国が補助金の拡充を行
い、今までは町費が
受らなければならない状態だ
ったが、受けられる可能性が
出たため、県に相談している。
それが分かり次第、資金計画
も立てられ、詳細設計ができ
るため、しかるべき時期には
お示しできるものと考えてい
る。

総務文教常任委員会

委員長 森 伸二

令和7年度 一般会計当初予算

〔町民税、固定資産税〕

問 滞納問題への対策や対応は。

答 滞納が発生した場合に
は、通常の督促、催告
を行い、なかなか納まらない
場合には、納税相談から分納
という流れで処理をし、差押
え等の強制執行などにも移っ
ている。無財産や生活困窮等
で強制執行になじまない方に
ついては、執行停止するとい
う処理も行っている。

問 各家庭に滞納を整理す
るために訪問活動等は
しているのか。

答 税債権は訪問徴収債権
ではないため、原則、
訪問徴収は行わない。

問 石井町では滞納処理で
滞納をしている納税者
のところに訪問をしていくと
いうことが報道されたが、こ
れはだめなのか。

答 全国的には納めに来て
いただいているのが主
流であり、これは納税者の意
識改革にもつながっているこ
とだと考えている。

〔町制施行70周年記念事業〕
問 町制施行70周年記念事
業について。

答 現在、講演いただく方
と調整中である。

〔大阪・関西万博事業〕
問 大阪の知事などから四
国も来てほしいという
ような要請はなかったのか。

答 県の主催するイベント
に藍住町も参加する形
式となっている。

問 小中学校が参加する計
画はないのか。

答 世界一大きな絵という藍
染の絵を万博会場で展
示していただくことになっ
ており、間接的な形で参加する。

〔マイナンバーカード交付事業〕
問 カードにしている人口
の割合は。

答 今のところ90パーセン
ト近い交付率である。

問 その中で保険証にひも
づけをしている割合は。
約78パーセント程度と
把握している。

〔参議院議員選挙費〕
問 投票率を上げるような
取組はしているのか。

答 中学生議会や子供たち
に対して主催者教育を
重ねていくことで、将来的に
投票率を上げていきたいとい
うような試みは行っている。

問 ゆめタウンに投票所を
設置する計画は考えて
いないのか。

答 今のところは考えてい
ない。

〔1人1台端末更新事業〕
問 現在使用している端末
と比較して、具体的に
どのような機能やサービスが
利用できるようになるのか、
それらの機能やサービスを利用
して何か新しい学習への取
組の計画などはあるのか。

答 校内での利用だけでな
く、インターネットの
環境があれば、家庭でも学習
システムへのアクセスが可能
となるような形になる。現在
次期末で使用する学習ソフト
の選定等を行っている。

問 旧の端末のデータの消
去に専用のソフト等で処
理が必要だと思いが計画は
業者のほうでデータの
復元不可能な状況に消
去、物理的な破壊をしてい
ただく。

問 予算の中に、処分費は
含まれているのか。

答 備品購入費の中に含ま
れている。

〔学校教育ICT業務支援事業〕
問 ICT支援員を配置す
るといふものなのか。

答 藍住町の町立小学校4
校と、2つの中学校に
ICT支援員を派遣する業務
である。

問 この事業では何名程度支
援する予定か。各学校
に支援員がどのぐらいのペー
スで行っていたらいいのか。

答 1か月当たり、12名を
1日当たり7時間で派
遣することとしている。それ
ぞれの学校に順番に派遣する
ような形であり、人数ではな
く、年間の日数で契約する予
定である。

〔新しい端末について〕
問 関連する技術的な問題
等が発生した場合には、支援
員にサポートしていただける
のか。

答 年間を通じて教員の補助
やトラブル対応等、技術
的な助言などにより、質の高
いデジタル教育基盤の整備を
図って行きたいと考えている。

〔学校体育館空調整備事業〕
問 夏休みまでにはするよ
うな計画か。

答 今現状ではいつまでに
できるか申し上げられ
ない状態である。

問 全然まだ決まってい
ないことなのか。

答 今、設計業務に取りか
かっており、現状では
まだ確定的なことは申し上げ
られない。

〔夜間中学校就学援助費〕
問 どのような中身なのか。

答 夜間中学校に通う場合
の就学援助を行うもの
である。

問 藍住町で、この援助費
を活用している生徒は
いるのか。

答 昨年度はいない。

問 就学援助の申請等の状
況等をもう少し宣伝を
してほしいがどのように考え
ているのか。

〔令和6年度に申請の方
法や周知の方法を大き
く変更し、全ての保護者に案
内をお送りしている。〕
問 藍住町の場合、対象の
基準額は生活保護基準
の何倍か。支給の場合、銀行
振込なのか。

答 就学援助は生活保護基
準1.3倍、特別支援
は2.5倍の基準になってい
る。また、全ての保護者に口
座振替で振込させていただ
いている。

〔中学校のバスケットゴール
保守点検業務委託〕
問 どういう点検なのか。

答 業者に発注して、危険
のないように点検等を
していきたくと考えている。

〔社会体育施設管理費〕
問 町民体育館は、照明が
暗い等の不備が出てき
ているため、問題点と要望を
聞くべきでないか。

答 この度は、LED化の設
計であり、今以上に明
るくなると考えている。要望
については設計段階などのと
きに考えさせていただきたい。
指定管理をしているスポーツ
クラブから状況を吸い上げる
ことなども考えられる。

問 空調に対して利用者か
らの苦情や要望は聞い
ていないのか。

答 今回、チャラーという部
分は修繕改修を行う予
定になっている。電力の関係
があり、その辺を考えながら
使っていたらいい。

〔世代間交流施設整備事業〕
問 令和8年の国県支出金
や、地方債、金額を細
かく割り振っているが、何を
使うかは決まっているのか。

答 令和10年度まで国庫補
助金や地方債等の借入
れについては、見込みを立て
て記載している。

問 予定が変わるとい
うことになるのか。

答 あくまでも現時点での
見込みということ
で、国庫補助金についても、交付
決定を受けたものではない。
この見込みどおり、国庫交付
金の申請や、地方債の借入れ
ができるように進めていきたく
と考えている。

問 認められなかったら、
一般財源で賄うとい
う認識でよいのか。

答 その場合は、社会福祉
施設整備事業積立金を
利用したい。

問 総額と各年度ごとの金
額をどのように理解し
たらいいのか。

答 事業計画、事業スケ
ジュールの進捗に応じ
た年度割を計上している。
令和7、8、9、10年と
一般会計から繰入れや
基金の積立をするなどの意
味合いはどうか。

問 支出予定額を示して
いるものか。

答 これだけの予算を確保
していくという目安を
年度ごとに立てているとい
うことか。

問 各年度で事業を進行させ
ていくということになる。

答 各年度で事業を進行させ
ていくということになる。



おがわ 幸英 議員



3月議会会議録

高齢者対策について

介護給付適正化を推進することが重要である

問 要支援・要介護認定を受けられた方へ重度化防止を図る取組は。

答 介護予防に対する意識高揚を図り、健康づくりを習慣化していただく。

問 野菜・食料品・電気・ガス・灯油代等、物価高騰から暮らしを守る対策は。

答 三つの物価高騰対策事業を実施することとしている。

問 ノリ乗りタクシー券事業で令和5年の対象者数3163人、購入者数272人。6年度の対象者数5096人、購入者数381人とのこと。対象者全員に配ってはどうか。

答 来年度も必要な方に購入していただくこととしている。

問 本町はコミュニティバス導入の計画は中止したのか。

答 検討を重ねてきたが、現時点で最も適した移動支援策は、タクシーの利用助成である。

防災対策について

地域の防災対策を強化するためにも、適切な施設や場所についても引き続き検討を進めたい

問 指定避難所一覧表では14か所で想定収容人数が指定福祉避難所を含めて9682人とのこと。今後、増やす取組はあるか。

答 東中富桜づつみ公園の芝生広場をテント避難所などとして活用する。今後も地域の特性や町民の皆様のニーズ、利便性などを考慮し、指定避難場の拡充についても検討していく。

問 携帯トイレ等の備蓄品の状況と取組はどうなっているか。

答 現在の備蓄数は3万3600回分。仮設トイレやマンホールトイレなども準備しており、切れ目なくトイレが提供できるように準備を進めている。

問 各地区にある老人憩の家を避難所にしてはどうか。

答 老人憩の家は1階建てであり、津波や洪水時の避難所には適していない。また、避難者が一定数集まった際に十分なスペースを確保できるかどうかや、備蓄品の保管スペースの確保が課題となることから、現在のところは考えていない。

子育て支援について

既存施設の充実や環境整備を進めている

問 国は令和8年度に中学校の給食費を無償化するとのこと。本町においても子育て支援策として小・中学生の給食費を無償化にしてはどうか。

答 慎重に判断すべきことであると考えており、現時点では無償化の検討はしていない。

問 町立幼稚園の延長保育について、令和8年4月1日から町立幼稚園で実施している延長保育を廃止する方向。令和8年度以降、延長保育の利用を考えの保護者の方は保育所への入所を検討いただくか町立幼稚園に入園される場合は午後6時までにお迎えいただくとの通達文章を送っている。その意図は。

答 延長保育を令和8年4月1日から廃止する方向で進めるため、この4月に入園される予定の4歳児の保護者の方には、施設を選択いただく時期までにお伝えすべきであると考えたため。

その他の質問

○水道管の耐震化について





栗島 和義 議員
くりしま かずよし



3月議会会議録

こころの健康について
メンタルヘルス対策は大変重要である

問 町民の皆様や本町職員へのメンタルヘルス対策として現在どのような取組を行っているのか。

答 町民の方へは、普及啓発活動、保健指導などによる個別支援対策、広報活動を行っている。職員へは、メンタルヘルス相談窓口の設置、ストレスチェック及び研修を実施している。

問 誰でも手軽にメンタルヘルスチェックができ、その場でチェックした結果に基づいてリンクした相談窓口の情報を得ることもできる、こころの体温計を導入すべきではないか。

答 重要な選択肢の一つとして捉え、今後どのように取り組んでいくかを検討していきたい。



藍住町保健センター

災害時避難所となる学校施設の防災機能強化について
空調設備整備臨時特例交付金を新設

問 教育の場であり災害時には地域の避難所としても重要な役割を担う小中学校体育館への空調設備の整備に向けての現状は。

答 現在、受託者において基本設計・実施設計業務に着手している。

問 空調整備において国や県、他の自治体とも連携して体育館の空調施設の最新の技術や先進的な導入例についてしっかりと研究し比較検討すべきではないか。

答 現在は藍住東中学校体育館空調機器整備にかかる基本設計実施設計を進めている。設計業務完了後、ランニングコストを含むライフサイクルコストや工事期間、災害時の稼働方式、断熱仕様等も踏まえた多方面からの比較検討を行っていくこととしている。

また、近年、導入事例等も研究しながら比較検討を進めている。

子どもにやさしいまちづくり
り事業の推進について
庁内連携の強化や、教育啓発活動に積極的に取り組んでいく

問 子どもにやさしいまちづくり宣言の制定や、庁内連携会議の立ち上げ等の取組により、子供の権利についての教育や啓発活動を積極的に推進すべきではないか。

答 まずは町が策定する総合計画や子ども計画などで、子供たちを真ん中に捉えた基本的な考え方や姿勢を示していきたいと考えている。

問 子供のための事業等の方針を決める際に当事者である子供たちが積極的に議論に参加できる仕組みや制度を整備すべきではないか。

答 今年度は第3期子ども子育て支援計画の策定にあたり、小学校5年生の児童、中学校2年生の生徒にニーズ調査を行い、子供の声を聞く取組を進めた。来年度に策定予定の第6次総合計画においても、町内中学校2年生の生徒を対象に、アンケート調査を実施し、意見を計画に反映することとしている。



もと き はるか 議員



3月議会会議録

本町職員の労働時間の現状と負担軽減に向けた取組について 業務の平準化を図っていく必要がある

- 問** 時間外勤務の要因分析を行った職員数と部署数は。
- 答** 令和5年度が3部署で12名、6年12月までが2部署で7名。
- 問** 業務集中の分析結果の活用法は。
- 答** 定期人事異動により、人員数を見直すなどの対応を行っている。
- 問** 特定部署の時間外労働職員数の差異の認識は。
- 答** 業務が一時的、時季的な要因に期するところがあると考えている。
- 問** 時間外勤務の際、管理職のサポート体制は。

答 業務配分が適切になされているかを随時確認し、必要に応じて改善していく。

問 管理職は職員退庁まで在席しているか。

答 業務自体の状況によって異なってくる。

問 他の自治体と比較しても平均時間外労働が長い。今後の改善策は。

答 より一層事務事業の見直し、効率化を徹底するとともに、長時間労働の是正も含めた働き方改革の推進を図っていきたい。

有給休暇の取得状況について

休暇を取得しやすい職場環境に努める

問 有給休暇はきちんとした形で付与されているか。

答 条例に基づき適切に付与している。

問 部署により取得日数に差異がある。どう分析しているか。

答 良好なワークライフバランスが実現できていないケースや、有給休暇を取りづらい環境や組織風土はなかったのかといった点。

問 管理職、副町長、町長の状況把握はできていたか。

答 把握している。

問 業務効率促進について今後どのように進めていくか。

答 職員一人一人が仕事に対する取り組み姿勢、意識改革が必要である。

不登校対策の連携体制と進捗状況について

校内支援ルーム事業に積極的な参画を
考えている

問 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの役割の違いや配置状況は。

答 スクールカウンセラーは心理の専門家、藍住中・東中学校、キャロツ子学級に1名ずつ配置。スクールソーシャルワーカーは福祉の専門家、町教育委員会に1名配置。

問 チームでの支援を進める上で一定期間、効果が見られなかった場合の対応は。

答 時間をかけて子供を理解して対応していく。

問 フリースクールの出席認定の進捗状況は。

答 国が示したガイドライン等に沿って協議した上で判断を行っていく。

問 給食費の停止再開の判断にちゅうちょするケースがある。ニーズに応じた考え方や対応は。

答 統一した判断が必要であるとは考えていない。各学校の間で情報共有を図り協議していきたい。学校以外の施設や人材、児童館など地域資源を活用する考えは。

問 慎重に行うべきであり、安易に依頼できるものではないと考えている。

問 とくしま多様な学びプラットフォームの今後の冊子の情報提供の具体的な方針は。

答 保護者に御覧いただけるよう、各学校長に対し、すぐるを用いた案内実施について通知している。



に い じゅんいち
新居 純一 議員



3月議会会議録

児童館・放課後児童クラブ について

安全対策を行っている

問 熱中症対策はどのようにしているのか。

答 活動中の適切な水分や塩分補給等の声掛け、出入口付近や窓のブラインド等の設置など対応を行っている。また、エアコンの効きが悪い箇所については、設備の更新を実施しており、環境の整備に努めている。

問 児童館には、十分なトイレを設けているのか。

答 児童館ガイドライン、放課後児童クラブ運営指針のどちらにも数の基準が設けられていないことから、数値的な示しをすることはできないが、

トイレの使用等について特に報告を受けていないため、問題はないと考えている。

問 適切な人員を配置しているのか。

答 放課後児童支援員を置かなければならないとされている。本町でも、この基準による人員配置を行っており、支援の充実に努めている。

問 建物の耐震化、室内改修はできているのか。

答 新耐震基準が設けられた以前に建築された2施設のうち、江ノ口児童館は耐震改修工事を実施しており、富吉児童館は、耐震診断の結果、耐震性能を示す指標が基準以上であったため、耐震工事の実施はしていない。施設の改修については、全児童館の修繕必要箇所の調査を令和5年に行っており、緊急度の高いものから順次改修し、今後も計画的に実施する予定である。

地籍調査について

調査の取組を強化して推進していく必要がある

問 どのような方法で、地籍調査をしているのか。

答 地域や時期を計画し対象となる土地所有者に対し、説明会を開催する。次に、一筆ごとに土地の範囲や境界を確認し、境界ぐいを打つ。その後、境界の測量を行い、地籍図を作成し、各土地の面積を求め、地籍図及び地籍簿の案を作成し、土地所有者が閲覧期間内に確認を行う。

問 今後、地籍調査をどのように進めていくのか。

答 地籍調査事業負担金を活用するとともに、効率的に事業を推進したいと考えている。



子ども食堂への助成について 引き続き包括的な見地で考えていきたい

問 現在の進捗状況は。

答 来年度早々には、仮称徳島こども食堂応援協議会を設置し、NPO法人や社会福祉協議会などの支援団体、有識者、市町村等の関係者が、運営のあり方や新しい取組について協議を進めていくとのこと。町としても、行政として参加し協力をしていきたい。助成については、予算計上はしていないが、寄附金を既存事業に充当している。

その他の問

○町立図書館へ雑誌サポーター制度の導入提案について



はやし しげる 議員 林 茂



3月議会会議録

世代間交流施設整備事業について

地域の活性化や住民サービスの向上、将来世代の利便性確保を目的としている

問 町民の要望を議会で提案すると、答弁は「町財政が厳しい」「財源がない」と言われてきた。世代間交流施設事業費は32億円。財源はあるのか。

答 国庫補助金11億500万円、地方債借入10億9565万円、基金繰入10億1210万円、一般財源が125万円と見込んでいる。なお

地方債の返済期間と返済総額については、現時点において借入れをしていないことからお答えすることができない。

問 新館に事務所を設置する社会福祉協議会、消費生活センター、福寿連合会、婦人会、ファミリーサポートセンター、人材センターの家賃は徴収するのか。

答 町からの支出等の兼ね合いも含めて検討していく必要があると考えているため、現時点において具体的な方針は定まっていない。

問 藍翠苑は、会場の使用料は不要であるが、新館になると会場費を徴収するのか。

答 部屋を貸し切って使用する場合には、施設使用料を設定することとなる。ただし、施設使用料の減額または免除の規定を設ける必要があるものと考えており、今後、検討を進めていきたい。

問 世代間交流施設は中央集中施設であり、高齢者には参加しづらいという意見もある。町は地域の老人憩いの家を充実すべきでないのか。

答 必要に応じた修繕や備品の買い替えなどを行い、適宜対応していく。

問 みどり橋の撤去と新橋工事費3億3000万円の予算に対し国庫支出金はゼロ。補助金がでない理由は、みどり橋は、住民が日常使わないこと、なくても住民生活に支障がないことと考えている。この橋が必要なのか。

答 正法寺川や正法寺川公園等、地域資源を有効活用するとともに、総合文化ホール等の周辺の公共施設との連携性を確保し、(仮称)藍住町世代

間交流施設が有すべき機能である、集まる、繋がる、広がる環境を構築するための一翼を担うものとなる。

問 文化ホールは災害避難場所であり、太陽光発電を設置するよう提案をしたが、設置しなかった。世代間交流施設は、太陽光発電の設置、規模など具体的な計画は。

答 現段階において、具体的には決まっていない。

問 藍住町長選挙が11月に控えており、世代間交流施設は緊急を要する工事でないため町長選挙以降にすべきである。重要な施策の取組は、住民の合意を図るためにも住民説明会を開催すること。

答 将来を見据えたときに、一刻も早く取り掛からなければならない事業であると考えている。また、継続的に住民の方に情報発信したい。



配置計画案

議員研修報告

「令和6年度 第3回市町村長等・議会議員特別セミナー」に参加して

藍住町議会議員 永浜 浩幸

令和7年1月20日から1月21日までの2日間、開催された「令和6年度 第3回市町村長等・市町村議会議員特別セミナー」に参加してまいりました。来所による参加者は、北は青森県から南は沖縄県までの187名で、4講義を受講しました。

第1講義では、東京藝術大学学長、日比野克彦氏による「アート×福祉」と題した講演を聴講しました。共生社会実現の重大な阻害要因である「望まない孤独・孤立」に関する課題に対して、社会的処方や文化的処方を中心とする組み合わせによって、その人がその人らしくいられるレジリエントな場所やクリエイティブな体験、一人一人に合ったケアと社会参画をデザインするという新たな視点に気づくことができました。

第2講義では、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究所教授、堀田聰子氏による「安心して認知症になれる社会を目指して」1人ひとりのマイクロハピネスをみんなのウェルビーイングに」と題し、認知症の視点から、誰もがわかりやすいデザインを考えることで、認知症バリアフリーの取組につながった事例を聴講しました。

第3講義の講師、社会福祉法人わたむきの里福祉会理事、野々村光子氏による「誰もが誰

かの応援者」と「地域」で応援し合うために」と題した講演では、一人一人の「適当」を大切に、暮らせることを大切に働き、働き・暮らし応援センター Tekitoo を立ち上げ、野々村氏のたぐいまれな行動力や優しい眼差しと、あふれる「愛」で、困難を抱える本人のみならず、地域や地域の企業にも好循環をもたらした「地域づくり」の成功事例を学びました。

第4講義の講師、公益財団法人東近江三方よし基金常務理事兼事務局長、山口美和子氏による「人と人、人と自然をつなぐ」地域内の資金循環の仕組みから」と題した講演では、地域からの寄付、休眠預金を活用した助成事業、ソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用した資金支援を通じて、東近江市における社会課題解決に取り組む事業者を支援し、住民意識の変化を見える化することで社会的インパクトを発信するなど、社会的インパクト投資の獲得へつながった東近江プログラムオフィサーの8つのフィロソフィーについて学びました。福祉というテーマのもと、各分野で活躍されている講師の方々から学んだことをよりよい町づくりを生かせるよう、尽力してまいりたいと思えます。

藍住町議会議員研修報告

3月17日、議会議事堂委員会室1において、議員研修会を開催しました。

徳島大学院社会産業理工学研究部准教授の小田切康彦氏を講師に迎え、「議会や町政に関心を持ってもらうための取組について」と題し、御講演いただきました。

講演後の質疑応答では個人の政治活動と議会としての取組の線引きについてのほか、次のとおり質問が出され、講師から回答がありました。

問 重要な施策を執行していくために、住民説明会が必要でないのかと考えるが、どのような考えをお持ちか。

答 住民に情報を提供して、情報をもろう。その機会を沢山増やしていくという意味で重要な機会だと思う。いろんなルートを開き巡らせていく中に、住民説明会がある。

問 ライブ中継やオンライン中継により議員と理事者が誹謗中傷の恐れがあると他の自治体でも問題があったが、どのような考え方であるのか。

答 SNSも含めて、対面のコミュニケーションと違った難しさがある。議会として、どこまで情報を発信していくかというようなルール作りをしていくことが重要である。

今回の研修で学んだことをいかし、さまざまな町政の課題と町民の意思を的確に把握し、責任ある議会活動を行い、町民の福祉の向上を目指したいと認識するとともに、さらに研鑽を積み取り組んでまいりたいと感じました。

3月24日、「議会質問⇔議会答弁講座～住民にわかりやすい議論にむけて～」と題し、eラーニング講座による藍住町議会議員研修会を開催しました。

この講座は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を講師として、6部構成とした講座を視聴後、各章ごとにテストを受けるものです。

主権者である住民にとって、わかりやすい議論を展開するポイントについて考察することができ、大変有意義な研修となりました。

プログラム

1. オリエンテーション
2. 問題提起 : 議会質問・議会答弁の課題
3. 全国事例 : 工夫がみられる事例紹介
4. 解決策提案 : 議論が深まる質問シートの提案
5. 未来議会 : 生成AIの活用
6. 住民自治 : 住民にとってわかりやすい議論とは



議 会 の う り じ き

2月

- 3日・議会全員協議会
- ▼選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- ▼先進地視察研修の報告について
- ・藍住町議会広報特別委員会
- ▼120号の校正について
- 7日 板野郡町議会議長会定例会 (松茂町)
- 11日・板野町町制施行70周年記念式典 (板野町)
- 13日 徳島市町村トップセミナー (徳島市)
- 13日～14日 板野東部消防議会視察研修(兵庫県・大阪府)
- 14日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会・全員協議会 (徳島市)
- 21日 徳島県後期高齢者医療広域連合例月出納検査 (徳島市)
- 26日・議会全員協議会
- ▼選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- ・議会運営委員会

3月

- ▼令和7年第1回藍住町議会定例会の日程等について
- 27日・徳島県町村議会議長会第80回定期総会 (徳島市)
- ・自治功労者・町村議会表彰式 (徳島市)
- 5日・議会運営委員会
- ▼一般質問通告の通告について
- ▼例規の改正及び制定について
- ・3月議会定例会開会
- ・議会全員協議会
- ▼物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について
- ▼災害物資集配拠点施設整備事業について
- ▼勝瑞地区浸水対策検討事業について
- 6日 厚生常任委員会
- 7日 中学校卒業式
- 10日 建設産業常任委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 13日 小学校卒業式

4月

- 17日 藍住町議会議員研修会
- 18日 3月議会定例会一般質問 p.7 p.11 p.12
- 21日 徳島県後期高齢者医療広域連合例会出納検査 (徳島市)
- 24日・3月議会定例会閉会
- ・藍住町議会議員研修会 p.12
- ・教職員離任式
- 25日 板野東部消防組合議会定例会 (北島町)
- 1日 教職員着任式
- 9日 小・中学校入学式
- 11日 藍住町議会広報特別委員会
- ▼121号の作成について
- 14日 徳島市正副議長就任挨拶
- 15日 徳島県後期高齢者医療広域連合例月出納検査
- 18日・議会全員協議会
- ▼令和7年度議会議員研修について
- ・板野郡町議会議長会定例会



29日 藍住町町制施行70周年記念式典

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。そちらをごらんください。

次号は8月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政、議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投 稿 規 定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時には、氏名を掲載させていただきます。
- ③字数は500字以内。
- ④掲載月を調整する場合があります。
- ⑤御意見の内容によっては、「町民の声」として取り扱わない場合もありますので、あらかじめ御了承ください。

～藍住南小学校富吉分校～

富吉の須崎には小さな分校がありました。通学区域は富吉で、分校時代は20名ほどの児童が通っていました。分校の沿革をたどると、明治14年頃、乙瀬小学校を廃し北三村(本村・竹瀬・成瀬)に建設された、公立愛育小学校に辿りつきます。そして、時代とともに、竹瀬尋常小学校、藍園村国民学校富吉分校などに変遷し、昭和30年4月、藍園村と住吉村の合併により、藍住南小学校富吉分校と改称されました。

私は、小学1年生と2年生の2年間、この分校で学び、3年生から自転車で藍住南小学校へ通学したことを、喜寿を迎えた今でも、つい昨日のこのように思い出します。

現在、分校はその役割を終え、建物も残っていません。そして、昭和57年、新しく藍住西小学校が開校しました。500人を超える児童が通う大きな小学校です。また、地域には、幼稚園、児童館、老人憩の家、藍住西クリーンステーションといった公共施設や、多くの住宅が建設されました。分校があった頃と比べると、地域の急激な発展や変貌には驚くばかりです。

富吉には、土地利用や環境整備などの課題と向き合い、解決を目指して頑張っている人がたくさんいます。その方たちを応援し、今以上に、花と緑に輝き、住民の生きる喜びにあふれる地域へと躍進していくことを期待しています。



町民の声

藍住町議会を傍聴して

3月定例議会の最終日、私は友人に誘われて、町議会を傍聴した。議会では、常任委員会の委員長報告の後、新居議員から「老人福祉センター藍翠苑と女性センターを統合する建設予算」に対し、予算組み替え動議が提出され、質疑が交わされた。議員からの質疑に対して、新居議員の回答は、的外れが多く当を得たものではなかった。途中、米本議長からも新居議員に対し、再答弁を促す場面もあった。質疑を行った議員も「的外れの答弁や答弁漏れ」に対し、十分な追及をすることなく、質疑は終了した。



成り行きを見守っていた傍聴席では、落胆と失意に満ちた言葉が交わされていた。私は、議会終了後、財政に詳しい方に「今回の動議」について、お訊ねしたところ、そもそも予算の組み替えは限りなく不可能であるという回答であった。それにしても、新居議員は、地方自治制度や地方財政についての十分な理解の上で動議を提出されたのか。傍聴席では、所詮、新居議員や動議に賛同した議員のパフォーマンスではないかと、囁かれていた。今回、議会を傍聴して、「議員は行政の仕組みなどももっと勉強し、議場では真摯に真剣な議論を展開すべき」との思いを、友人と語りながら議場を後にした。

編集後記

藍住町は、本年4月29日をもって町政70周年の節目を迎えました。昭和30年に藍園村と住吉村が合併した当時は田園風景が多く、どかな地域で人口10544人、小・中学校2校、また、町議会も議場もなく公民館で会議を行っていたようです。しかし、現在では人口35344人(3月現在)にまで増加し、多くの商業施設や公共施設が立ち並ぶ暮らしやすい町へと発展してきました。

こうした中、今後、町議会といたしましては、町民の皆様方とともに、次の80年、90年、100周年に向けて、町政発展に全力を尽くしてまいります。

前田 晃良

藍住町議会広報特別委員会

- | | |
|-----|------|
| 委員長 | 竹内君彦 |
| 委員 | 元木春香 |
| 委員 | 栗島和義 |
| 委員 | 新居純一 |
| 委員 | 前居晃良 |
| 委員 | 宮本影子 |